



しゃぼんだま

10月号



1学期から2学期へ



4月に進級して新たなスタートをしてから、早いもので半年が経ちました。

1年生は、10月から2学期が始まると、1年生のゴールライン（＝2年生のスタートライン）に向かって歩みを進めていくことになります。6年生にとっては、卒業（＝中学校への進学）に向けた歩みがはじまります。月日が経つのは本当に早いものだなと感じます。

子供たちが自分に自信をもち、新たな気持ちで2学期の歩みをスタートできるよう、今後も「ことば・学級・家庭」の三者支援へのご協力をお願いいたします。

10月の予定



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
					第1学期終業式 午後の通級お休み	
12	13	14	15	16	17	18
	スポーツの日	学期間休業		第2学期始業式 午後の通級お休み		
19	20	21	22	23	24	25
					担当不在のため 通級お休み	
26	27	28	29	30	31	
		市陸上大会				

※ 月・火・水・金曜日は、岡本北小学校での指導となります。

※ 木曜日は、上河内中央小学校での指導となります。

※ 体調不良や学校行事等で欠席する時や連絡したいことがある時には、下記連絡先までご連絡ください。

【月・火・水・金曜日】 岡本北小学校 : 028 - 673 - 5810

【木曜日】 上河内中央小学校 : 028 - 674 - 2018



1 学期のお子様の様子をお知らせします

10月10日（金）で第1学期が終了します。

保護者の皆様、担任の先生方には、子供たちが前向きな気持ちでことばの教室での活動に取り組めるよう、家庭や学級でのサポートをいただきまして、本当にありがとうございました。

岡本北小学校ことばの教室では、お子様がことばの教室でどのような活動に取り組み、どのようなことができるようになっていくのかをお伝えするために、第1学期末と第2学期末に「個別の支援計画兼報告書」を作成して保護者様と担任の先生にお渡ししています。担任の先生方には、保護者様へのお渡しをお願いいたします。子供たちの成長の様子をお伝えすることで、担任の先生や親御さんから子供たちへのお褒めの言葉や励ましの言葉を掛けていただけるきっかけになればと思います。

非認知能力を育てよう

先日、日本吃音臨床研究会長、伊藤伸二先生のお話を伺う機会がありました。伊藤先生は、小学2年生から吃音に深刻に悩み21歳で「吃音を認めて生きよう」と覚悟されてから、学業成績の認知能力も他者信頼の非認知能力もV字回復したそうです。そしてご自身の経験から、「非認知能力」を幼児期・学童期に育てておくことの大切さを感じたそうです。

お話の中で紹介されていた「非認知能力」を高める生活習慣について、ご紹介いたします。

○ 子供と一緒にルールを作る

決めたルールを家族全員で守ることで、ルールを守る意識が形成される。

（例：ゲームの使い方、帰宅したら手洗い・うがい、家族との挨拶など）

○ 親子で読書習慣を作る

新しいことへの関心が高まり、論理的思考力が育つ。

○ 楽観的なものの見方を身に付ける

物事をポジティブに捉えることで、自己肯定感が高まり否定的な出来事にいちいち傷つき落ち込むことがなくなる。

○ 何かに没頭することで集中力を高める

何かに没頭した経験は、自信につながる。

○ 習慣形成によって自己効力感を高める

毎日決めたことを実行し続けると、無意識に望ましい行動がとれるようになり、「自分は〇〇をすることができる」という自己効力感が高まる。

○ コミュニケーション力を高める

いろいろな相手とかかわる経験を積むことで、対人不安が和らいでいきます。

○ レジリエンス（立ち直る力）を高める

「失敗は気付きを与えてくれる」と考え、自分の課題を知ることで失敗を活かすことができる。

○ ストレス対処法を知る

趣味や運動をする、誰かに話を聞いてもらうなど、自分に合った対処法でストレスを発散する。

